

小4国語①

氏名

月 日

/5問

田中さんのクラスでは、夏休みの思い出について書くことになり、田中さんは次のような文章を書きました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【夏休みの思い出】

ぼくは、夏休みにおじいちゃんの家遊びに行きました。去年までは家族といっしょに行っていたのですが、今年はじめては一人で行ききました。一人で二時間も電車に乗らなければならぬので、とてもきんちょうしました。でも、本を読んだりおかしを食べたりしていたら、あっという間におじいちゃんの住んでいるいなかの駅につきました。

おじいちゃんの家では、畑の手伝てつだいやせみ取りなどを行いました。一番心に残のこっていることは、花火大会に行きました。

花火大会は大ぜいの人でにぎわっていました。でも、前の日におじいちゃんが場所取りをしてくれていたので、すわって見ることができました。

花火は、同じ丸い形のものでも、キラキラ光るものや、流れるように落ちていくものなど、種類しゅるいがたくさんありました。また、川の両はしになわをはって、たきのように流れ落ちる花火もありました。見るのも楽しかったのですが、花火の音にもはくカがあつて、心にあとひびいたのを今も思い出します。

おじいちゃんの家の近所に住んでいる小学生とも仲良なかよくなりました。い、来年もまたおじいちゃんの家に行くのが楽しみです。

一 【夏休みの思い出】の中には、主語と述語が合っていない文が一つあります。その文のはじめの五字をぬき出して書きましよう。(句読点も一字としてふくめます。)
また、選んだ文を正しく書き直しましよう。

はじめの五字

一番心に残

書き直した一文

例
一番心に残っていることは、花火
大会に行ったことです。

二 【夏休みの思い出】のあに入る言葉として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 ジーン
- 2 ドーン
- 3 パーン
- 4 ガーン

2

三 【夏休みの思い出】のいに入る言葉として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 だから
- 2 しかし
- 3 それとも
- 4 つまり

1

四 田中さんの【夏休みの思い出】には、夏の季節を感じさせる言葉がいくつかあります。二つぬき出して書きましよう。

せみ取り
花火

五 田中さんは、【夏休みの思い出】のある一文のあとに、次の一文を入れようしています。どの文のあとに入れるとよいですか。その文のはじめの五字をぬき出して書きましよう。(句読点も一字にふくめます。)

おしりに当たるごごの感じよくが心地よかったです。

でも、前の